小・中学生向け
ガイドマップ

浦和くらしの博物館

うらわくらしのはくぶつかんみんかえん

民家園

学校名　　年　　組

名　前　　見学した日　　年　　月　　日

ようこそ 浦和くらしの博物館民家園へ！

浦和くらしの博物館民家園は、市内に伝わる伝統的な建物をみなさんに見てもらうための野外の博物館です。現在、7棟の建物を公開しています。また、昔の生活用具などもあわせて展示し、季節の行事も行っています。昔の人々の知恵を生かした建物と、今、皆さんが住んでいる家との違いなどを比べながら見ると新しいことに気がつくと思います。

民家園からのおねがい

- ●しきいはふまないでください。　●建物のなかでは走らないでください。
- ●部屋に上がるときは、くつをぬいでください。
  （くつしたが、汚れているときは、よくはたいて、よごれをおとしてください。）
- ●建物のなかではものを食べないでください。
- ●犬、猫などのペットは、建物内に入れないでください。

スタンプを
押してね！
（管理棟１階ロビーにあるよ！）

民家園クイズ

いくつできるかな？

答えは、裏面のみんかえんマップの右下だよ。

Q1 昔話「さるかに合戦」に、登場する物が、蓮見家住宅の中にあります。
それはなんでしょう？
ヒント：ハチと栗たちと、いっしょにかたきうちをしたものです。

Q2 住職が生活する建物をなんと言いますか？

Q3 民家園は、○○○田んぼのなかにある。○○○はひらがな3字です。なにかな？

Q4 綿貫家住宅と、高野家住宅は同じ道に面して建っていました。その道の名前は？

Q5 裕福な農家が建てる特別な門のことをなんと言うでしょう？

Q6 これらは園内のどこにあるかな？ 探してみよう！

- 1 ししまど
- 2 柱時計
- 3 かまど
- 4 縁側
- 5 箱階段
- 6 じざいかぎ
- 7 茅葺屋根
- 8 ハスの花

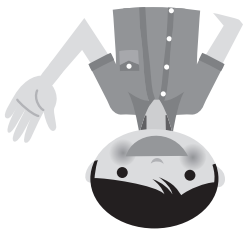
利用案内

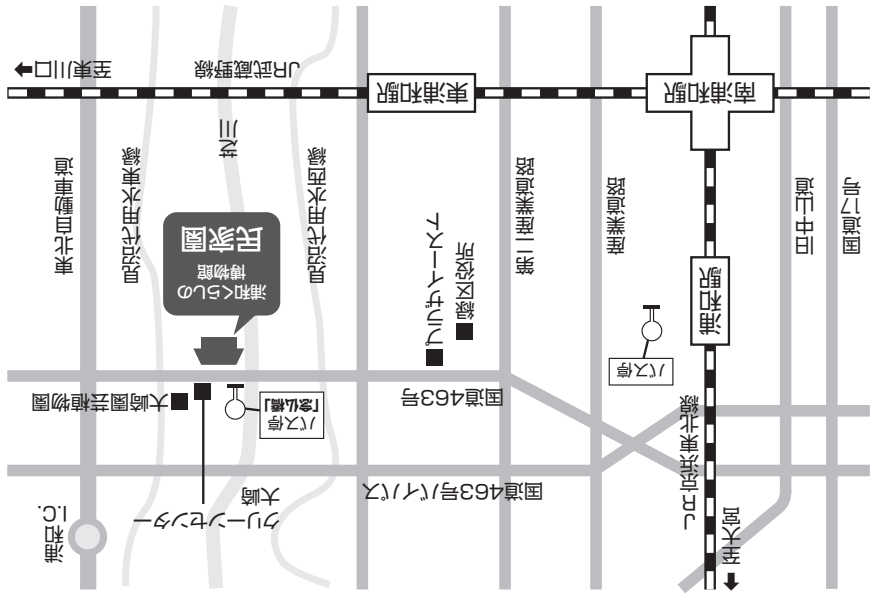
- 1 入館料……無料
- 2 開館時間…午前9時から午後4時30分まで
- 3 お休み……月曜日（祝日は除く）、祝日の翌日（土日祝日は除く）、年末年始など

〒336－0925
さいたま市緑区下山口新田1179－1　☎048－878－5025

交通案内

JR京浜東北線浦和駅東口から バス。東川口駅北口、イオンモール浦和美園SC・大門経由浦和美園駅行きなどに乗って、バス停「念仏橋」でおりません。
また、JR武蔵野線東浦和駅から歩いて25分くらいです。





みんかえんマップ

①管理棟（トイレがあります）

ロビーには、お手玉、輪投げなどの昔の遊び道具があります。みんなで仲良く遊んでね。

大谷石でできた倉庫

②浦和市農業協同組合三室支所倉庫

（建てられた時期：約100年前）

この倉庫は、はじめは栃木県小山市で「かんぴょう」の倉庫として使われていました。そのあと、昭和31年に緑区三室の農協に移され、お米の倉庫として使われました。当時、この辺の農家で多くの米の収穫があり、大きな倉庫を必要としていたためです。現在は、展示室として活用しています。

茅葺屋根のせんべい店

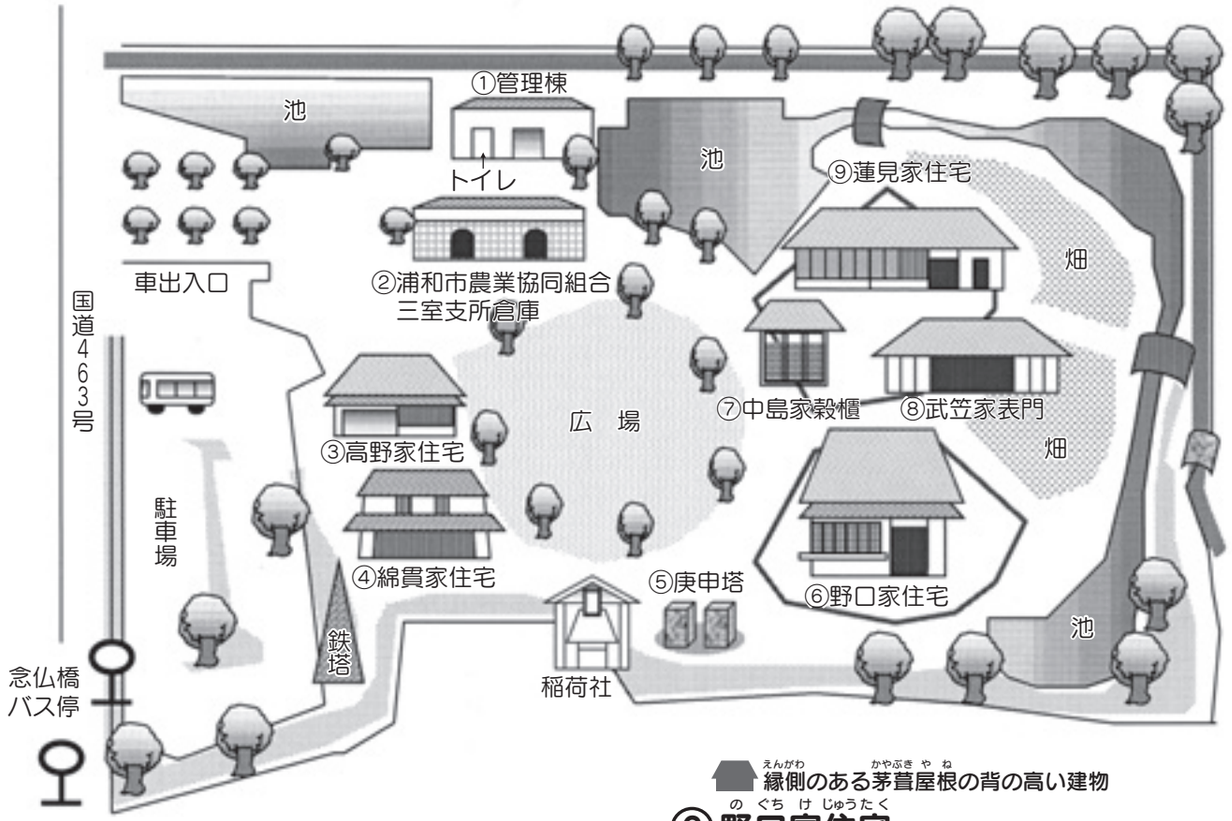
③高野家住宅（建てられた時期：約170年前）

高野さんの家はせんべいを売るお店でした。以前は、中山道沿い岸町7丁目にありました。（浦和駅近くの中山道沿いは、昔はいろいろなお店や宿がならんでいましたが、現在、木造の家は少なくなりました。）せんべいを作る作業場（土間）や、井戸が家の中にあります。

防火対策にすぐれた建物

④綿貫家住宅（建てられた時期：約150年前）

綿貫さんの家は、雑貨や砂糖などを売るお店でした。以前は、中山道沿い常盤2丁目にありました。外から見ると蔵のように見えませんか？壁は厚くて、火事に強いつくりになっています。白い壁は、漆喰という材料を塗っています。



⑤庚申塔（立てられた時期：江戸時代）

「庚申信仰」は江戸時代に流行した信仰です。内容は、60日ごとにめぐって来る庚申の日は、寝ている間に体から「さんしのむし」がでて、天にいる神様（天帝）に日頃のおこないを報告されてしまうので、良くないおこないを「さんしのむし」に言わせないために、その日の夜は寝ないですごすというものです。庚申塔は、信仰の証として、願いを込めて作られたもので、今でも、古い道の交差点などに見られます。

縁側のある茅葺屋根の背の高い建物

⑥野口家住宅（建てられた時期：約160年前）

この建物に住んでいた野口さんは、お寺の住職でした。住職の住む家のことを「庫裏」といいます。家に入ると、畳の部屋が3つ、板の間が1つ、合計4つの部屋があります。こうした部屋の数と、土間がある間取りの家は、この建物が建てられた時代によくみられました。屋根は茅葺屋根といって、草でできた屋根です。また、縁側という廊下が、南側と西側にあります。

さいたま市内で一番古い民家

⑨蓮見家住宅（建てられた時期：約270年前）

蓮見さんは、農家でした。大戸から家に入ると、土でできた「土間」があります。土間では、「かまど」で食事の準備をしたり、わら打ちなど農家の作業を行っていました。また、田畑の耕作に大事な役割をはたす馬を飼っていました。部屋は、板の間と畳の部屋、納戸の計3部屋です。このような間取りは、この時代によく見られた形式です。板の間にある「いろり」では、火がたかれ、その周りで、食事をしたり、寒い時は温まったりするなど、家族が集まるところでした。また、正面にある「ししまど」は、猪などを家に入れないために格子になっています。

裕福な農家の立派な門

⑧武笠家表門（建てられた時期：約240年前）

武笠さんは、代々緑区三室で農業をして生活していました。この門は、「長屋門」という種類の特別な門で、農家の作業場にできる土間があり、農具も収納できます。この門は、結婚式やお葬式などの特別な日にしか、開けませんでした。いつもは、脇にあった出入口を使用していたということです。

お米を収納する板でできた蔵

⑦中島家穀櫃（建てられた時期：約150年前）

お米などを保存する倉庫です。②浦和市農業協同組合三室支所倉庫は、みんなで使う共同の倉庫ですが、この穀櫃は、中島さんの家のものでした。屋根は茅葺屋根です。正面の板を上下にスライドさせて、中にお米、大豆などの穀類を収納します。

クイズの答え

Q1 うす（または石うす）　Q2 庫裏　Q3 みぬま　Q4 中山道　Q5 長屋門

Q6 1、ししまどは蓮見家　2、柱時計は綿貫家　3、かまどは蓮見家、野口家、高野家　4、縁側は野口家　5、箱階段は綿貫家、高野家　6、じざいかぎは蓮見家と野口家　7、茅葺屋根は、蓮見家・野口家・武笠家表門・中島家穀櫃・高野家　8、ハスの花は池です。

この印刷物は6,500部作成し、1部当たりの印刷経費は10円です。